

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 本邦における曜日別の分娩数と予定帝王切開術・陣痛促進剤との関連性に関する後方視的検討

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守（産科・周産母子センター 講師・病棟医長）

[研究の目的] 本邦において週末（土曜日・日曜日）の分娩は平日（他の曜日）に比べ分娩数が少ないが、その原因（予定帝王切開術施行・陣痛促進剤使用の頻度など）ならびに周産期予後（胎児機能不全、子宮内胎児死亡・早期新生児死亡の頻度など）を明らかにし、今後の周産期管理に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005年から2009年の5年間に日本産科婦人科学会の周産期登録データベースに登録され、妊娠22週以降に分娩となった単胎妊娠妊婦 約300,000名

●利用する情報

日本産科婦人科学会の周産期登録データ

母体所見：

分娩した曜日、母体年齢、既往分娩の有無、分娩週数、分娩様式、陣痛促進剤使用の有無など

胎児・新生児所見：

胎児機能不全の有無、出生児体重、新生児仮死・胎児死亡・早期新生児死亡の有無など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報には、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932